

# 感染症情報 2月10日～16日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	881例(堺市	66例)
②溶連菌感染症	481例(堺市	66例)
③RSウイルス感染症	86例(堺市	3例)
④咽頭結膜熱	69例(堺市	8例)
⑤突発性発疹	47例(堺市	3例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 3486例(堺市 364例)

が報告された。感染症報告数は前週比10.1%減の1,672件であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して7%減、堺市では19%減であった。溶連菌感染症は府下で11%減、堺市で79例→66例の16%減で、定点当たり4.16→3.47であった。RSウイルス感染症は府下で26%増、堺市で4例→3例であった。咽頭結膜熱が府下で24%減、堺市で7例→8例であった。

インフルエンザの3413例は2%増、定点当たりは11.38→11.62であった。堺市は364例で3%増、定点当たりは12.14→12.55であった。

堺市教育委員会公表の20日正午現在の学年閉鎖は<堺区>錦小1年、<北区>西百舌鳥小1年、学級閉鎖は<中区>八田荘西小6年、土師小5年、東百舌鳥小3年、東深井小5年、<東区>南八下小2年、野田中1年、<西区>浜寺小2・3年、浜寺昭和小2年、津久野小3年、上野芝小3年、鳳南小2年、向丘小1・3・4年、平岡小4年、<南区>槇塚台小1・2年(1年生の2月19～20日は学年閉鎖)、<北区>五箇荘東小2・3・5年、金岡小5年、金岡南小1・2・6年、百舌鳥小4年、中百舌鳥中1年、<美原区>八上小2年であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。